

財政収支の中期見通し

(平成24～28年度)

「財政収支の中期見通し」につきましては、社会経済状況、国の制度改正等の影響を反映させながら、毎年度公表してきたところであります。

今回の平成24年度から28年度につきましては、平成24年度決算を見込み時点修正を行うとともに、『大分市行政改革推進プラン』の取組による効果等を加味し試算いたしました。

なお、国庫補助金の一括交付金化など国の制度改正につきましては、収支に影響がないものと仮定して試算しています。

その結果、依然として厳しい財政状況が続くことが予測されますことから、今後も行政改革の継続的な取組や、市税等の自主財源の確保に努めることにより、安定的な財政基盤を確立させ、市民と行政との協働によるまちづくりを推進してまいります。

大分市財務部財政課

平成24年10月

財政収支の中期見通し試算の説明

<1> 歳 入

- ・市 税 平成24年度見込額をもとにたばこ税の税源移譲や今後の固定資産税評価替等を考慮し試算した。
- ・地方交付税 平成24年度見込額をもとに基準財政需要額及び基準財政収入額をそれぞれ推計し試算した。なお、平成26年度以降は消費増税の影響額等を加算した。
- ・市 債 市債発行額は、主に投資的経費の充当財源として、現行の対象事業や充当率により試算し、平成25年度以降はホルトホール大分建設や土地開発公社清算に係る起債を減額した。なお、臨時財政対策債については平成25年度見込みを基に試算した。

<2> 歳 出

- ・人 件 費 平成24年度の人件費をもとに「中長期的な業務執行方式の見直し」を踏まえた人員減を見込み、退職手当は定年退職者数などを積み上げて試算した。
- ・扶 助 費 生活保護費や障がい者・高齢者・児童福祉費等、各制度毎に今後の伸率を推計して試算した。
- ・公 債 費 過去に借り入れた市債の償還金に、今後発行見込みの市債の償還金を加算した。
- ・投資的経費 平成24年度見込額からのホルトホール大分建設費約100億円が減少するものの、平成25年度は事業規模200億円を確保する試算とし、平成26年度以降は公共施設の維持管理・更新に係る経費の増大を加算した。

財政収支の中期見通し（一般会計）

単位：億円

区 分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
市 税	753	760	759	745	748
地 方 交 付 税	116	110	128	147	152
国 県 支 出 金	390	378	395	405	418
市 債	249	160	169	169	169
うち臨時財政対策債	61	72	72	72	72
そ の 他	219	201	238	251	263
歳 入 A	1,727	1,609	1,689	1,717	1,750
義 務 的 経 費	960	969	1,020	1,040	1,067
人 件 費	308	306	304	301	297
扶 助 費	435	449	501	527	559
公 債 費	217	214	215	212	211
投 資 的 経 費	284	200	228	230	232
そ の 他	483	450	458	464	469
歳 出 B	1,727	1,619	1,706	1,734	1,768

※臨時財政対策債は、国の地方交付税の原資不足分に対する地方債への振替措置として発行するもの

収 支 A-B		△10	△17	△17	△18
収 支 不 足 の 累 計		△10	△27	△44	△62

収支不足に対する措置

基 金 繰 入 金		10	17	17	18
基 金 積 立 金					
主 要 3 基 金 残 高	148	138	121	104	86

※主要3基金とは、財政調整基金、減債基金、市有財産整備基金をいう

